

## 執筆者紹介

望月 宏 本学経済学部教授

小原理一郎 元株式会社ニコン理事・国際部部长

溝田 誠吾 本研究所研究参与

## 〈編集後記〉

本号では、「日本のカメラ産業の競争力分析」と題する望月論文、「株式会社ニコンの歩みー光学機器産業から精密機器産業への展開」と題する小原論文、「<研究ノート>「総合光学機器」メーカーの分析 その1 株式会社タムロン」と題する溝田論文の、計3編を掲載した。

3編の論文は、社会科学研究所グループ研究「日本のカメラ産業の競争力・ブランド力分析」(2013~15年度)、「イメージセンサーと半導体産業」(2016年度)の研究成果であり、計120ページを超える大作である。

日本の主要メーカーが世界市場をほぼ独占状態しているそうで、勤勉誠実で職人気質の企業風土の中で、関連会社群とともに高度化した独自技術が蓄積されてきて、通常の家電よりも参入障壁が高いことなどが、様々な資料とともに解説されている。

望月論文の最後に記されていた「高精細画像を使った老朽化した建物の点検など新たな分野の開拓」には、都市防災の観点から強い興味関心を抱いた。センサーや地震計などと組み合わせつつ汎用的なサービスを期待したい。

(K.S.)

---

2018年2月20日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 宮 寄 晃 臣

製 作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561

---